

「読売ブリッジサロン」 個人投資家向け説明会

株式会社ブロードリーフ

東証一部 3673



目次

I. ブロードリーフとは	1
II. 成長戦略	13
III. 株価、業績、配当・優待	19

ご参考

収益モデル、協賛活動

I ブロードリーフとは？

ご挨拶



代表取締役社長

大山 堅司

Kenji Oyama

昭和43年9月生まれ
鹿児島県出身

【略歴】

- ・ 高校時代に個人で会社を起業
- ・ 1987年4月 : 建設積算ソフト会社、ビーイング社の設立に参加
東証JSQ(1999年上場)
- ・ 1989年4月 : 同社取締役就任
- ・ 1996年12月 : 米シリコンバレーにBeing Investment Corpを
設立、CEOに就任
- ・ 2000年7月 : ビーイング社、取締役副社長に就任
- ・ 2005年10月 : 投資会社アイ・ティー・エックス顧問に就任、
(株)ITX翼（現当社）の再生に携わる
- ・ 2006年1月 : ブロードリーフ（当社）取締役副社長に就任
- ・ 2006年6月 : 当社、代表取締役社長に就任

企業理念



感謝と喜び

ブロードリーフは、「感謝と喜び」という人や企業が深く結びつくために欠かせない“心”を大切に、お客様とともに繁栄するビジネスを進めております。私たちの商品やサービスがお客様の事業に貢献する時、お客様に「ブロードリーフとつきあって、よかった」と感じていただけるでしょう。

そして事業が日々成長する実感に、喜びが生まれることでしょう。そんなお客様の心を受けて、私たちにも「感謝と喜び」が生まれ、よりよい商品やサービスにつながっていきます。

社名の由来

【社名】



Field for Our Future
-考える、つながる、広がる-



社名に込めた思い

「ブロードリーフ (Broadleaf)」とは広葉樹を意味します。

広葉樹の多くは、春から夏にかけて、葉に日光を受けて成長し、冬には葉を落として土に養分を還し他の植物と共生します。

ビジネスの大地にしっかりと根を張り、葉を生い茂らせ、実をつけて、お客様とともに未来へ向かって成長し続けたい。そんな気持ちが込められた社名です。

会社概要

拠点一覽

事業所
開発拠点

札幌
札幌開発拠点
盛岡
仙台
新潟
福島
宇都宮
金沢
富山
松本
山梨
静岡
名古屋
神戸
福井
大阪
京都
高松
松山
宮崎
鹿児島
長崎
大分
熊本
福岡
福岡開発拠点
山口
広島
岡山
茨城
東京開発拠点
千葉
東京
横浜

沖縄

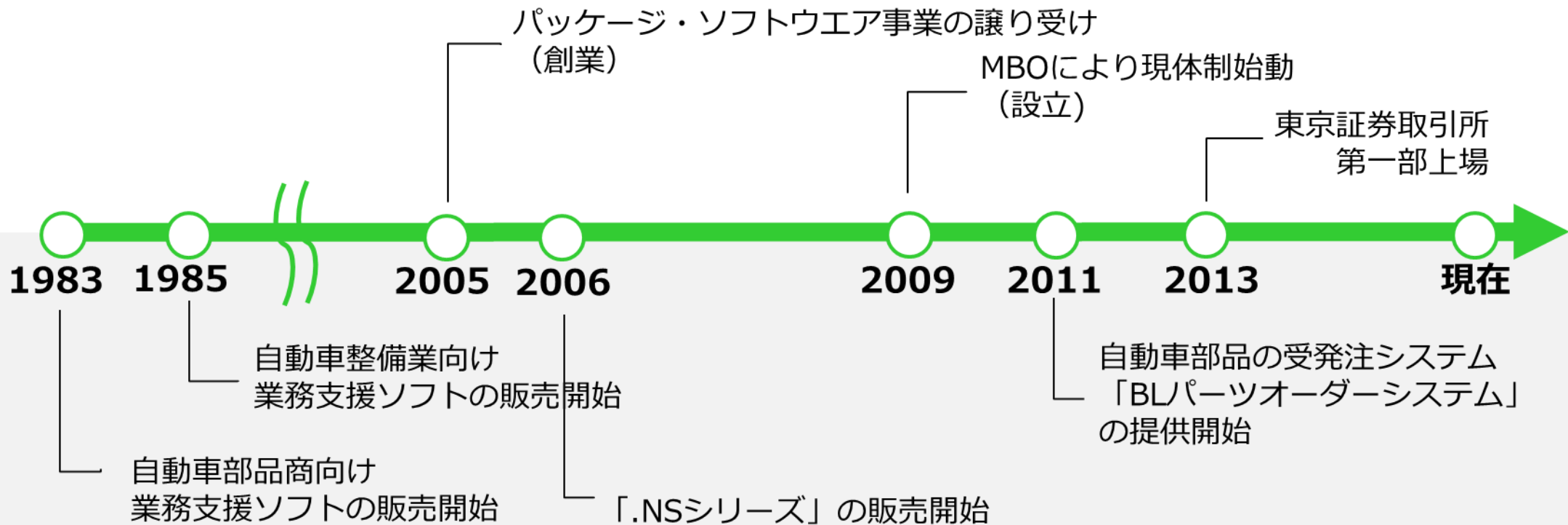
I. ブロードリーフとは？

沿革

2005年の事業買収以降、自動車アフターマーケットの革新を目指し、**事業創出・拡大**を進めてきました

安定収益基盤の確立・発展

成長機会分野の創出・発展



I. ブロードリーフとは？

グループ構成

国内



株式会社ブロードリーフ

2017年7月買収・子会社化

Tajima

◎ 株式会社タジマ

100%



◎ 株式会社SpiralMind

100%

海外

(フィリピン)

◎ Broadleaf I.T.Solutions Inc.

100%

○ BLISAM TRADING CORP

50%

(中国)

◎ 博楽得信息科技有限公司（合肥）有限

100%

◎ 北京盛源博乐信息科技有限公司

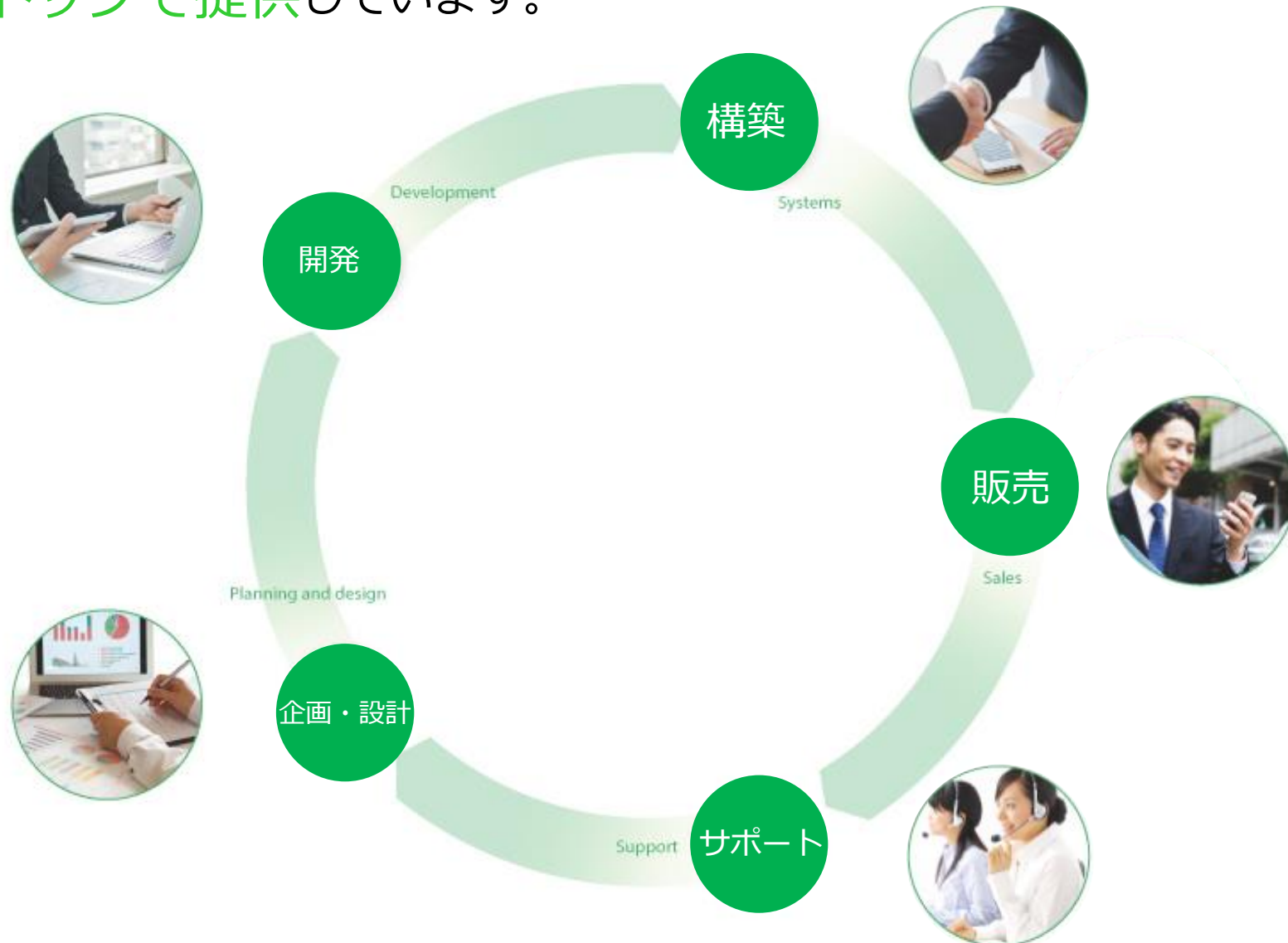
100%

◎は連結子会社、○は持分法適用関連会社

%は議決権の所有割合

事業サマリ

システム＆サービスのIT企業として、ユーザーが必要なあらゆるサービスを
ワンストップで提供しています。



こんなところにブロードリーフ

あなたが生活するさまざまな場面の裏側で、当社の製品は活用されています。
たとえば、クルマを購入してからカーライフを支えるさまざまな場面で、
当社システムが皆様の安心・安全を支えています



競合状況

主力の自動車アフターマーケット向けビジネスにおいては、
他の競合を大きく引き離す業界を代表する企業です



売上収益 167.6億円（2016年12月期）
（IFRS）



2017年7月に買収・子会社化

売上高 33.7億円（2016年9月期）

株式会社EBE（※1）

売上高 13.4億円（2017年6月期）

株式会社プロトリオス

売上高 23.9億円（2016年3月期）

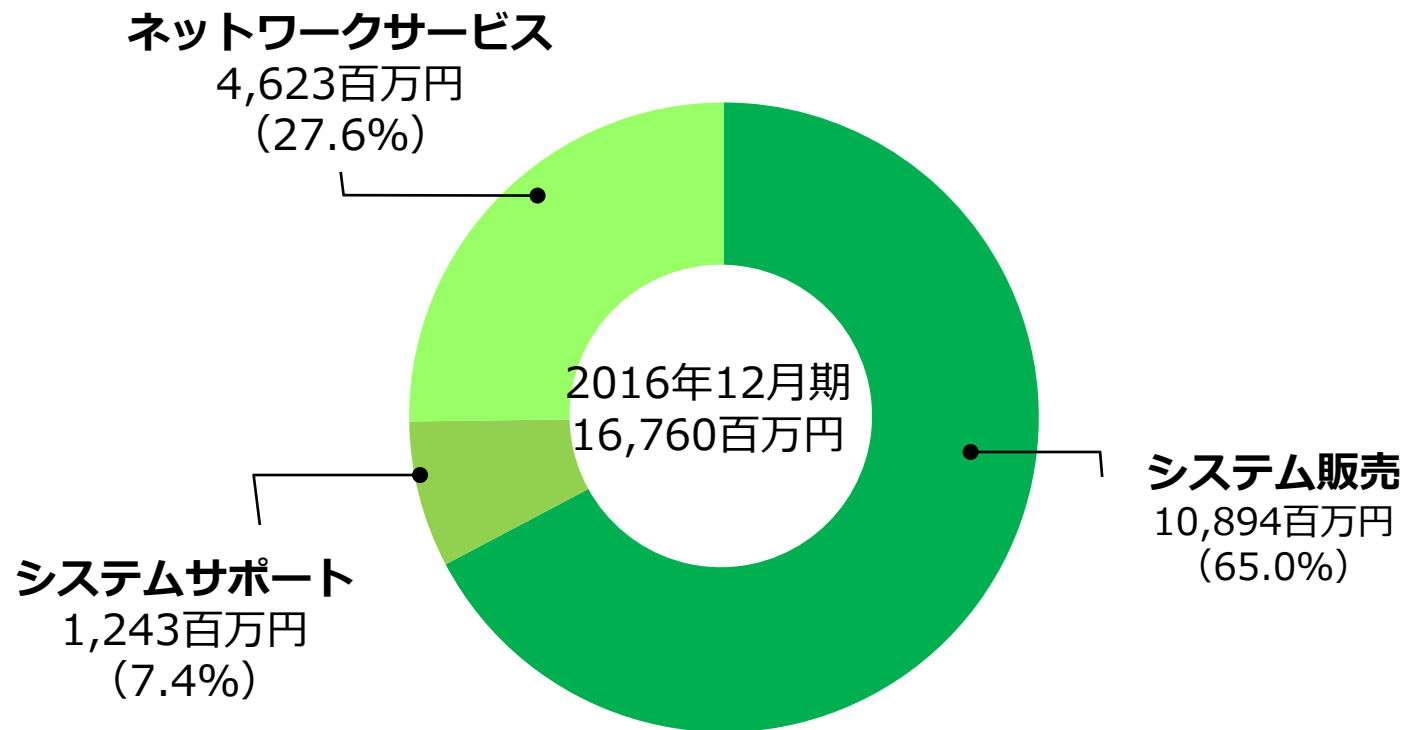
株式会社ディーアイシージャパン 売上高 16.5億円（2016年8月期）

※テックファーム社 子会社 自動車アフターマーケット事業より

売上収益の構成

ネットワークサービス分野の電子受発注サービスやタブレット型ツールなどは利用者の増加や利用率の上昇が見込まれ、今後の収益成長機会となっています

分野別売上構成比



※カッコ内が売上構成比率

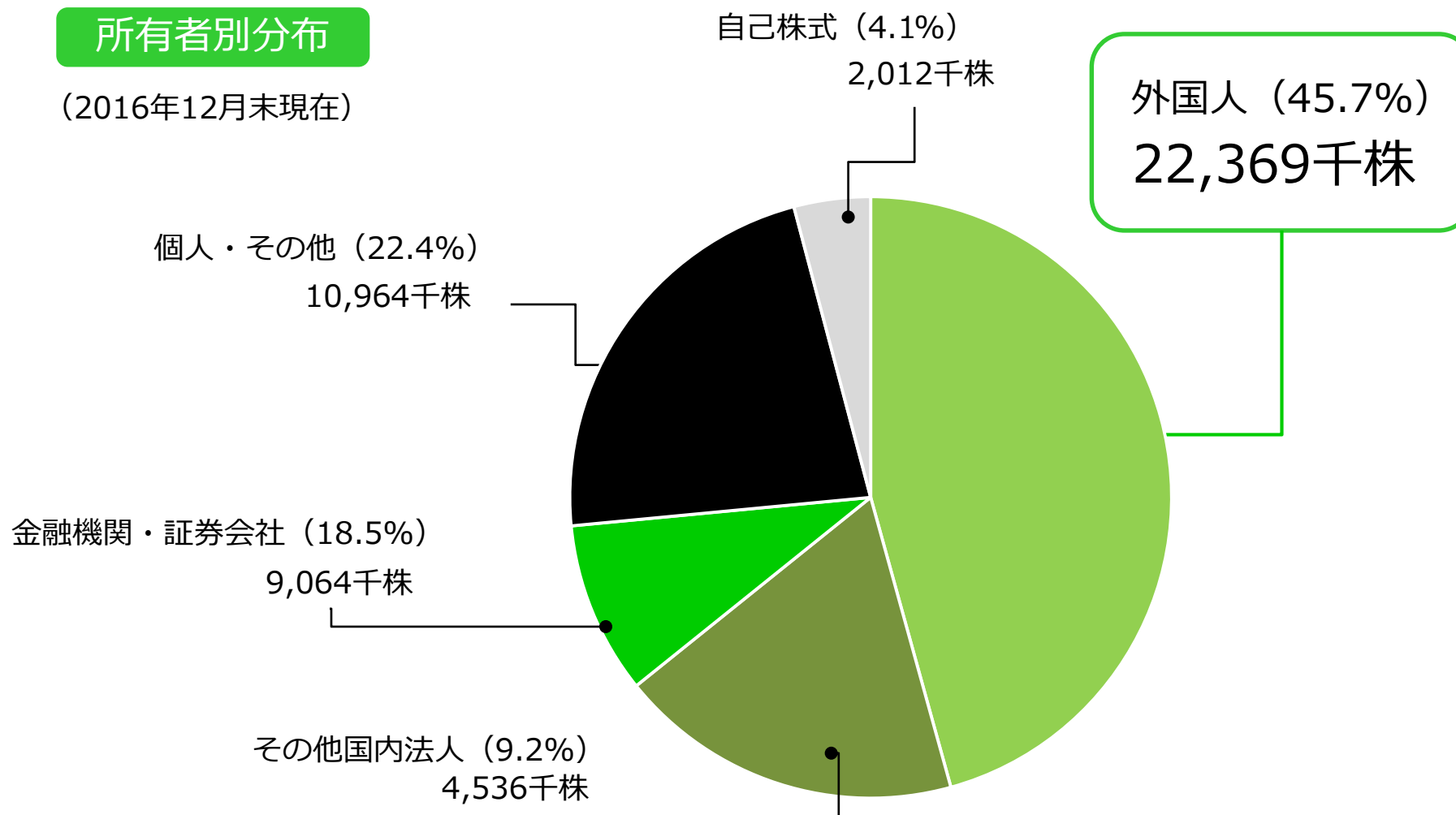
当社の株主

外国人株主比率45.7%

安定的な収益基盤と他社にない成長分野を**あわせ持つ**ことに注目が集まっています

所有者別分布

(2016年12月末現在)



Ⅱ

成長戦略

ブロードリーフの強み

1

30年以上の実績 & 圧倒的な顧客基盤による **安定的な収益基盤**

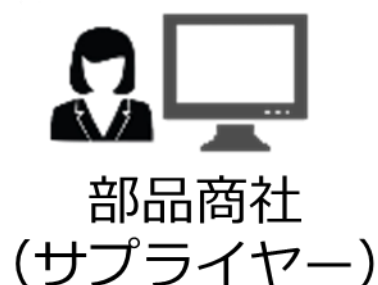
2

顧客間ネットワーク & データ利活用による独自の **成長機会**



産業プラットフォームの拡大（情報プラットフォーム）

取引関係にある事業者間の業務支援システム同士をつなぎ、**企業間取引サービス**における事業領域（電子受発注、流通（EC、リサイクル）、決済など）を拡大しています



【成長機会分野】



※1：CarpodTab：カーポッドタブ（以下CPT）

※2：BLパーツオーダーシステム（以下BLP）

※3：情報PF：情報プラットフォーム

データを活かした事業展開

現在、強固な顧客基盤をベースに収集した膨大な自動車関連データの利活用を促進し、**新たな成長分野の開拓**を進めています

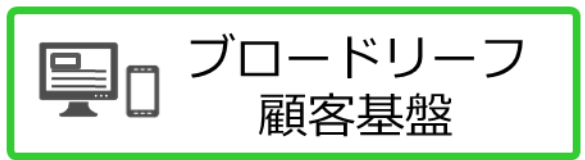
提供サービスを通じた
データ収集



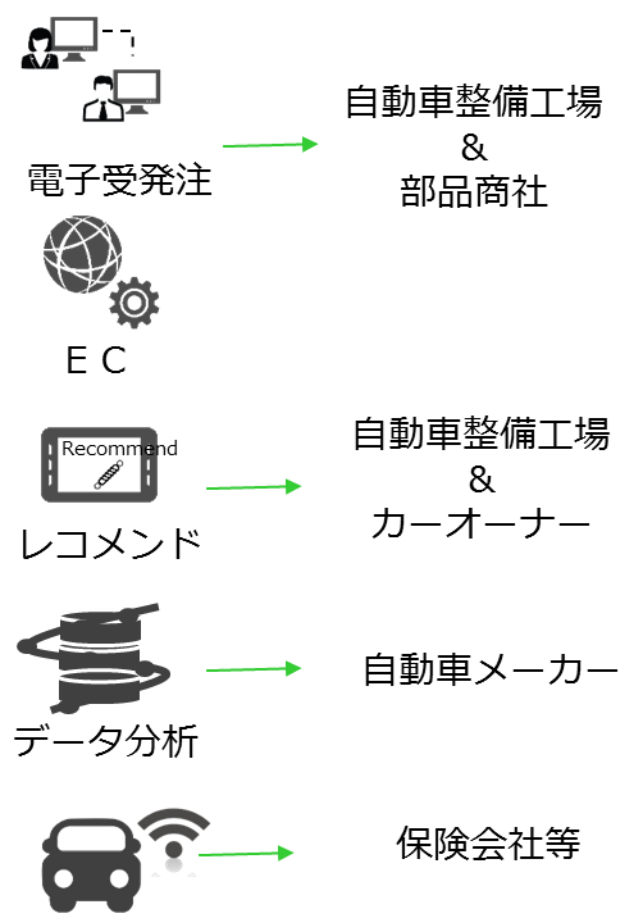
蓄積



+

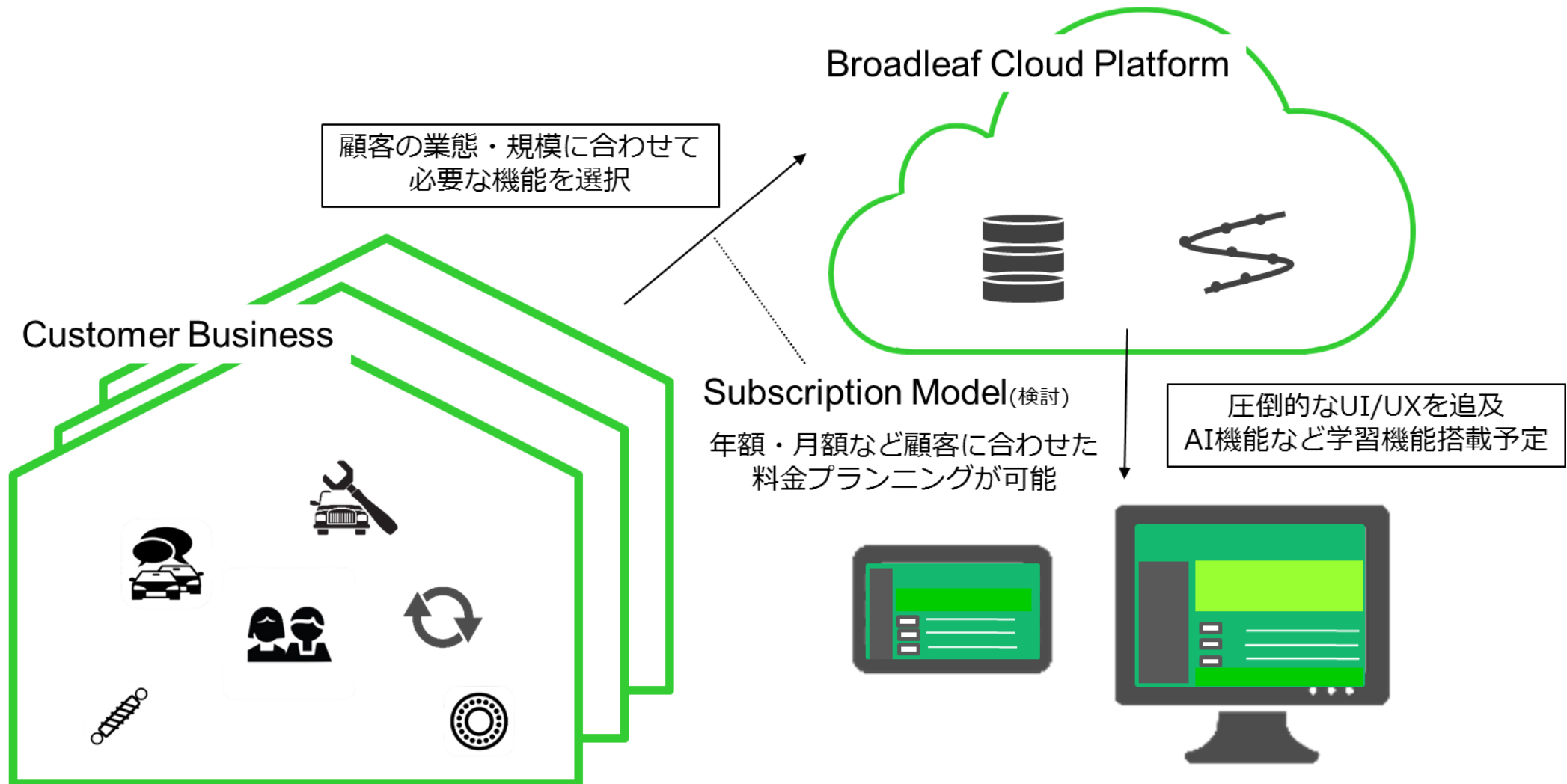


データ利活用サービスの
提供



商品開発力

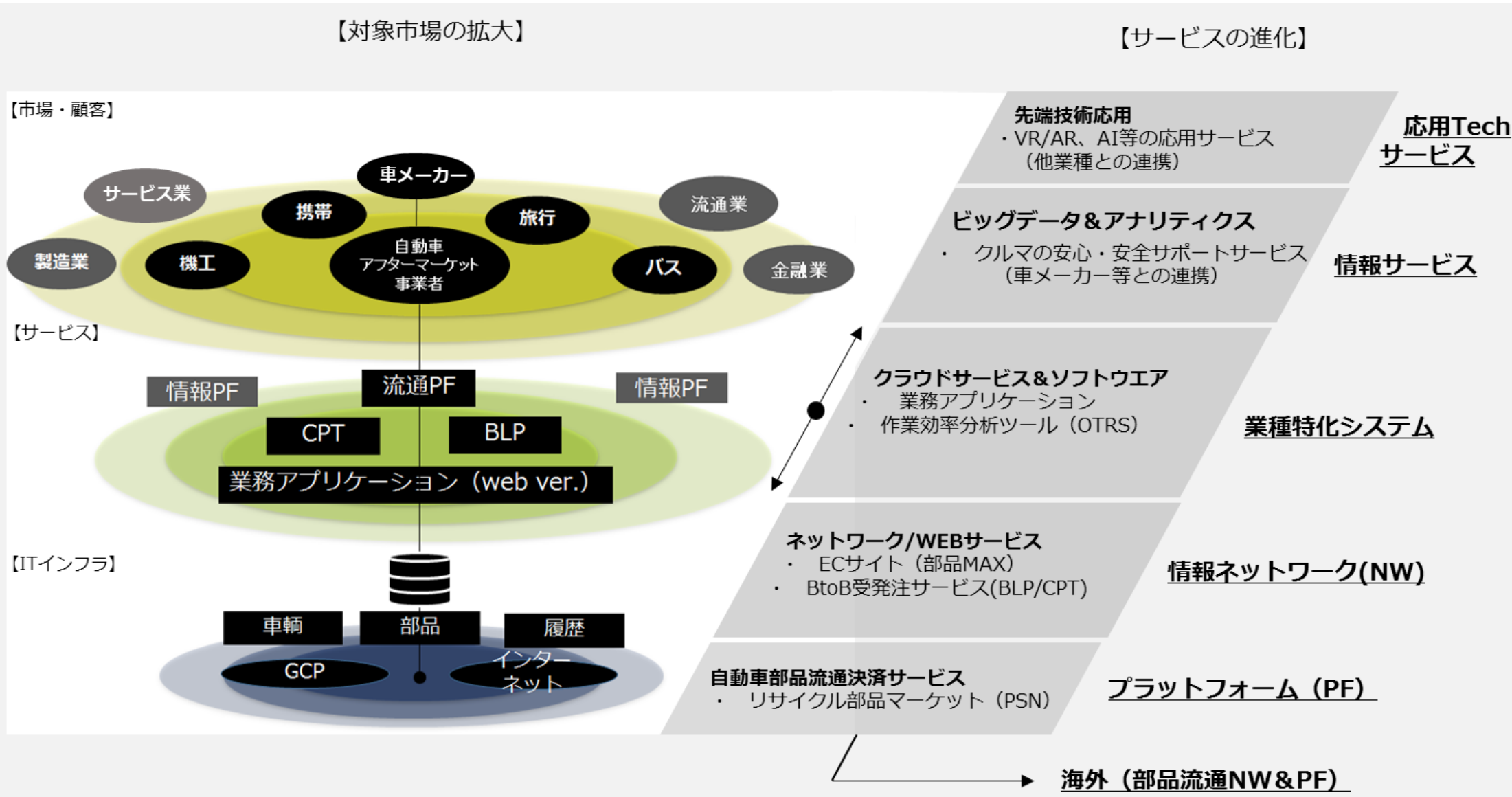
収益基盤の業務アプリケーションビジネスも、次世代システムを開発中
豊富な資金力と開発力で他の追随を許さない圧倒的な商品を実現します



今後の取り組み方針



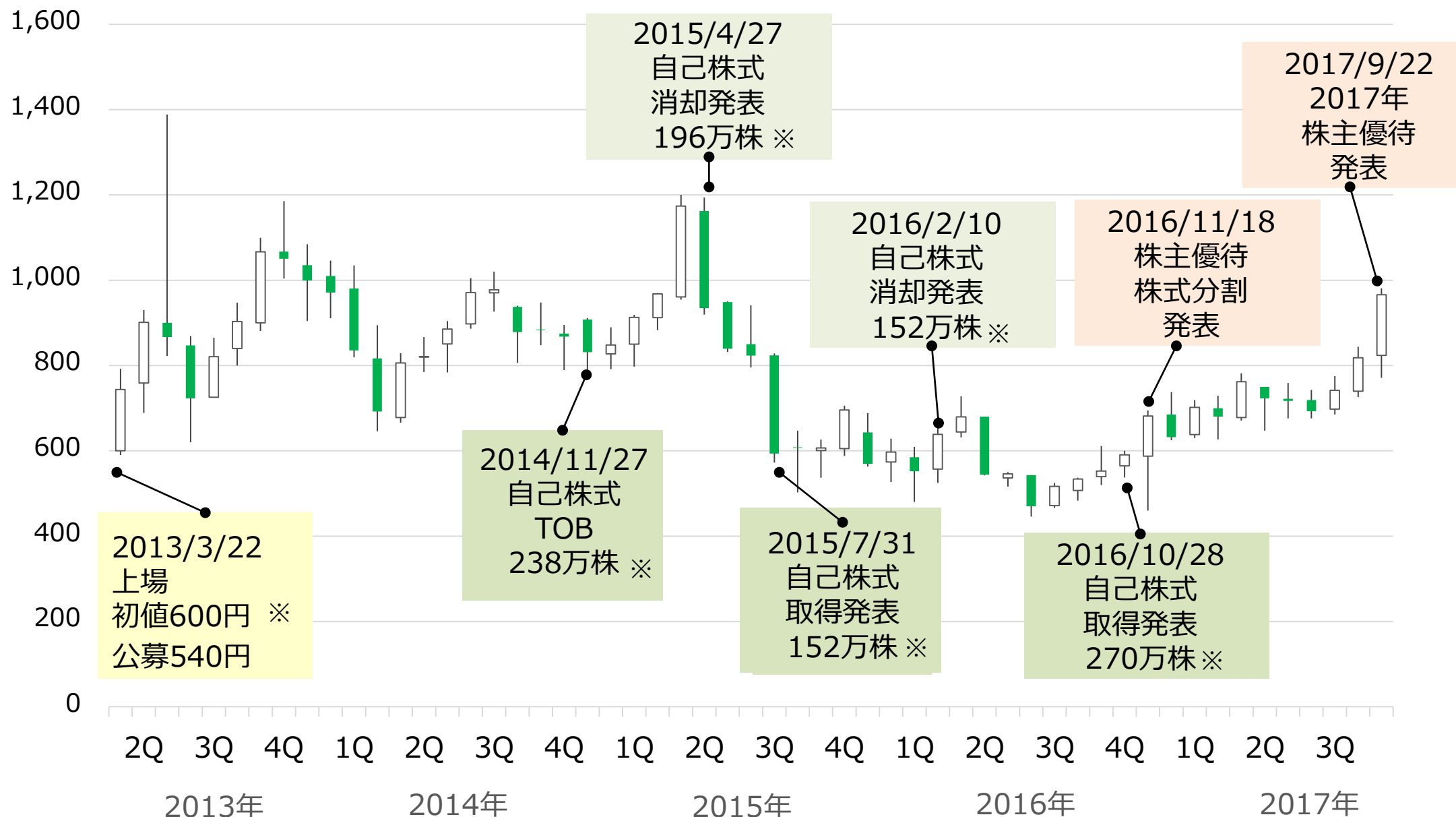
データを起点としたサービス展開を進め持続的な成長を目指します



Ⅲ

株価、業績、配当・優待

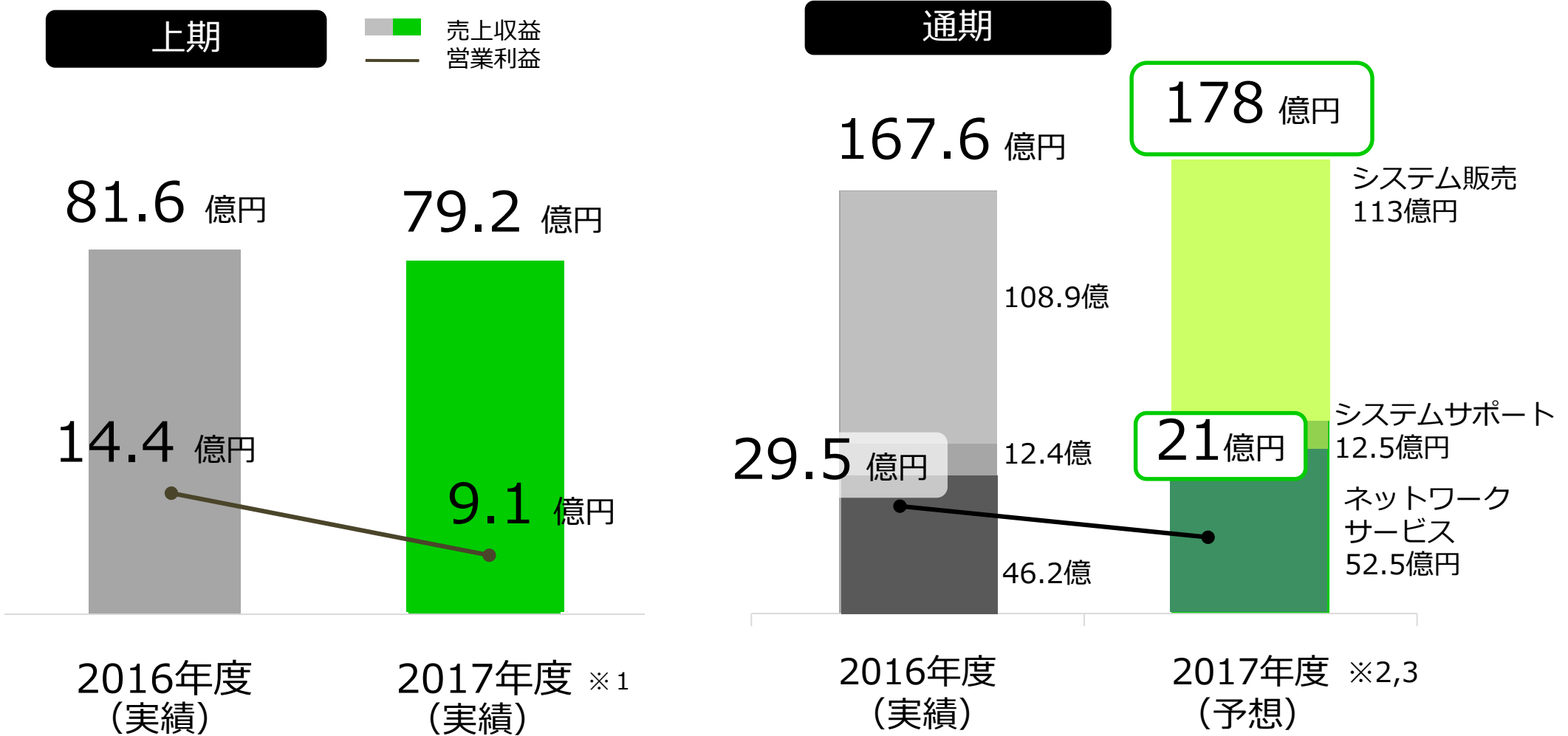
株価の推移/自己株式の取得



業績の推移と予想

当期（2017年度）は2Qを経過。
 タジマの連結子会社化などを踏まえ**通期予想を上方修正**

※ 1 2/14発表の期初の上期予想は売上収益81億円、営業利益6億円
 ※ 2 2/14発表の期初の通期予想は売上収益170億円、営業利益20億円
 ※ 3 グラフの記載は8/4発表の最新業績予想

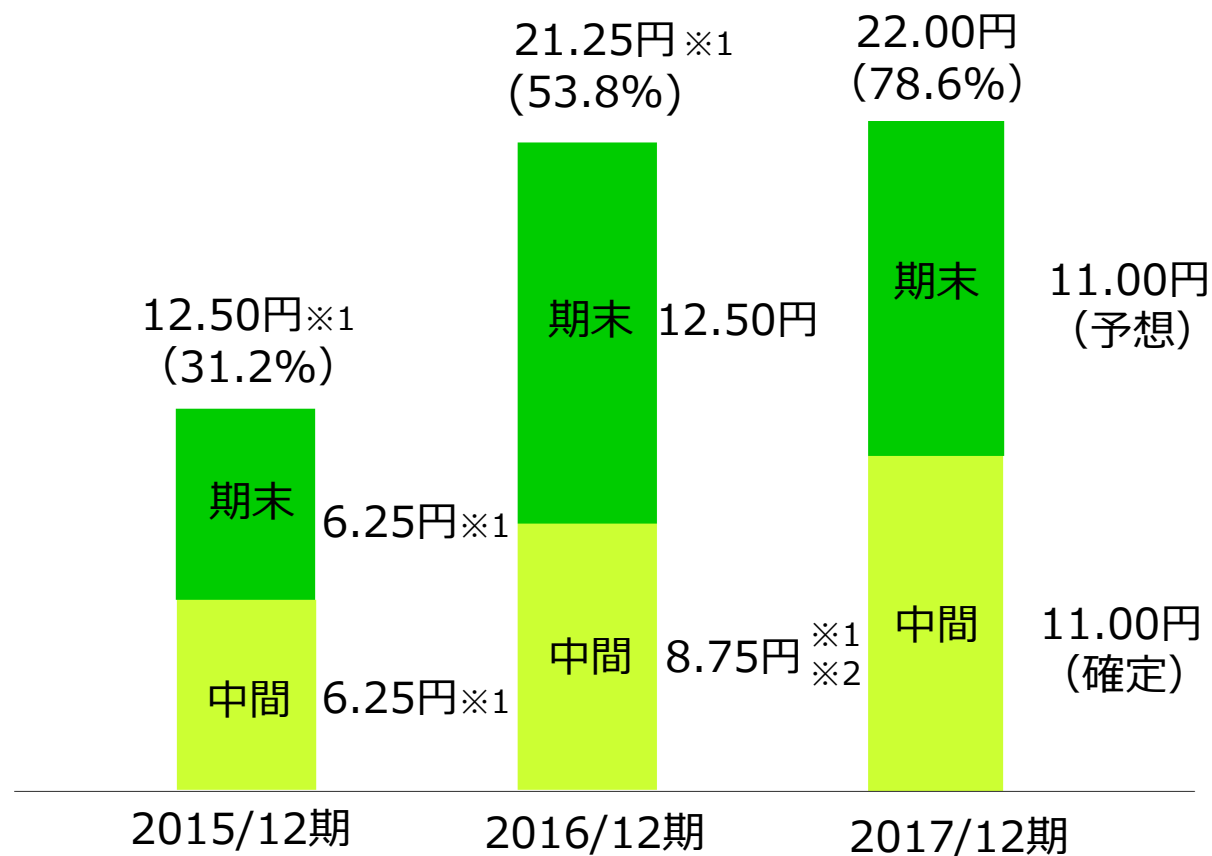


注 表示未満の数値は四捨五入

配当予想と推移

2017年年間配当も**実質増配**を予定

年間配当
(配当性向)



※1 2016年12月17日効力発生日の株式分割(1:2)調整後金額

※2 2016/12期中間配当は、普通配当6.25円(分割調整後)に、10周年記念配当2.5円(分割調整後)を加えた合計額

2017年_株主優待

株主優待内容を**拡充&リニューアル**



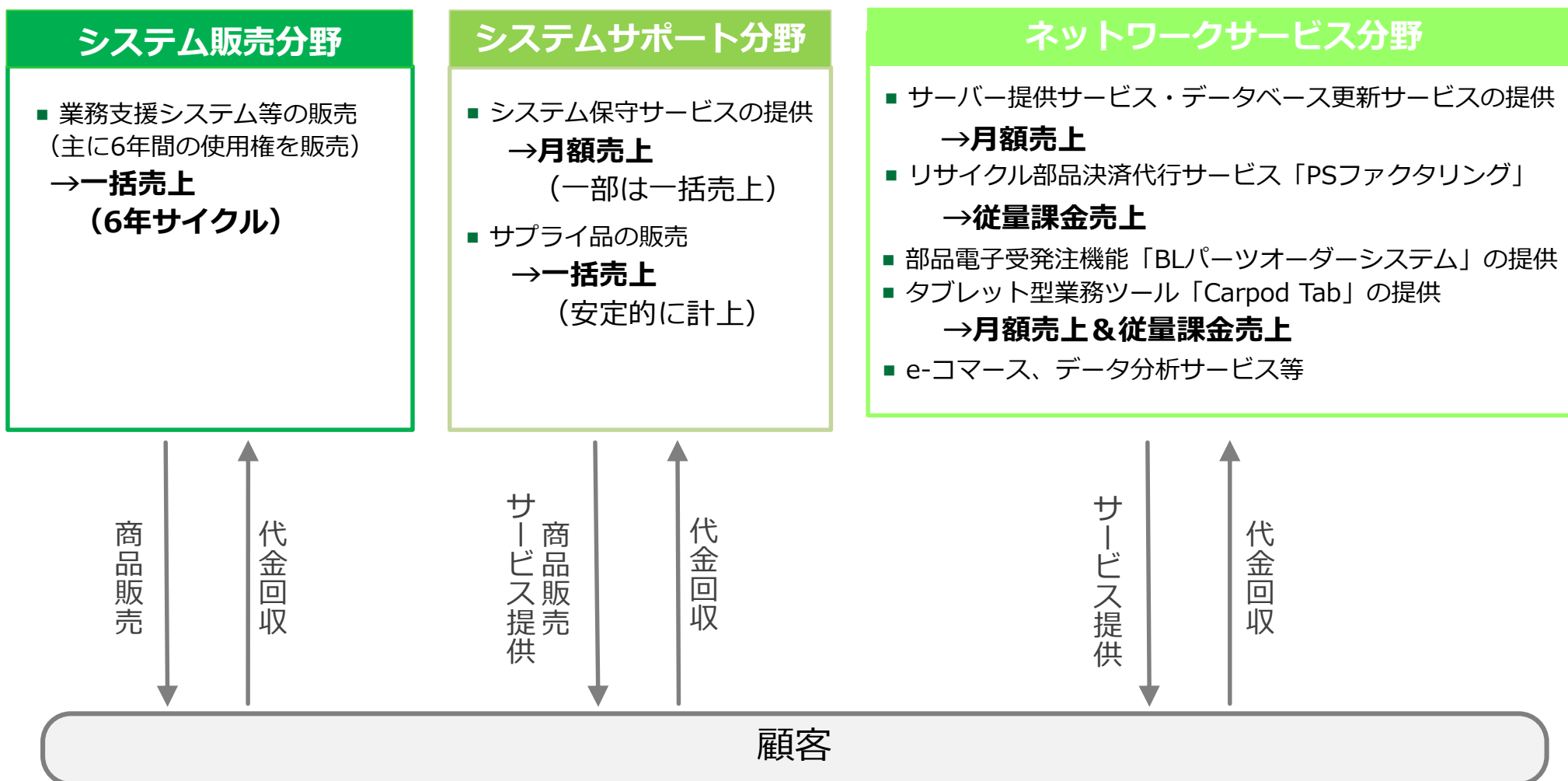
終値 (9/29)	優待利回り (100株保有の場合)	配当+優待利回り (100株保有の場合)
967円	5.2%	7.5%

保有株式数	① オリジナルQUOカード	② 部品MAX株主ご優待
100株～499株	① 3,000円分	② 2,000円相当
500株～999株	① 6,000円分	② 3,000円相当
1,000株～4,999株	① 10,000円分	② 10,000円相当
5,000株以上	① 30,000円分	② 20,000円相当

ご参考

収益モデル、協賛活動

システム販売分野は、**6年サイクル**で業務支援システム利用者が契約更新するため、利用者からの月額売上とともに、**安定的な収益基盤**となっています



文化 支援

マリアと緑のプリンセス協賛



次世代を担う子供たちに向けて、2008年から7年にわたり「葉っぱのフレディ-いのちの旅-」に協賛し、その文化貢献活動を通じて、生きることの喜びと感謝、循環型社会の素晴らしさを伝えてきました。2015年からは、「思わず家族をそっと抱きしめたくなるもう一つの“いのち”の物語」をテーマにした「マリアと緑のプリンセス」への協賛をスタートしています。

産業 支援



経済産業省が後援する「くるまマイスター検定」（主催：一般社団法人 日本マイスター検定協会）において、当社は2016年度第4回開催より協賛を開始しています。



教育 支援



自動車を中心とした様々な分野の科学技術やものづくりに興味を持ってもらう体験型学習イベント「キッズエンジニア2017」に協賛しています。

免責事項

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

【お問い合わせ先】
株式会社ブロードリーフ
IR・広報室
Mail : broadleaf-ir@broadleaf.co.jp